

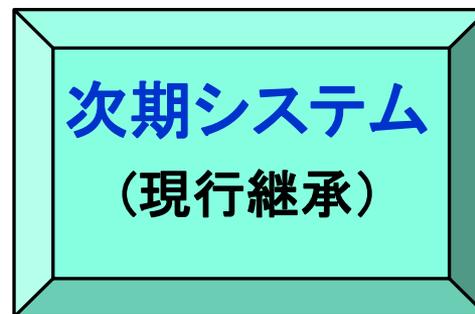
# 次期システムの概要説明

**2015年10月から  
次期システム稼働**

**(全国システム実務者研修会資料)**

2014年11月13日

「eお菓子ねっと」のさらなる発展を図る為に、eお菓子ねっとシステムを機能アップして、新たなシステム環境にて、「eお菓子ねっと」の日々の運用を今迄以上に、信頼され安心出来るシステムに移行します。



2015/10/19(月)～

- ① 現行EDIシステム運用
- ② Web2008システム
- ③ JCA/BSC⇒全銀TCPIP手順

- ① システムの安全性信頼性強化
- ② 新規フォーマット「V2」の採用  
(現行フォーマット「V1」は継続利用)
- ③ 新規・現行フォーマットとの相互連携
- ④ 全銀TCPIP手順／次世代手順



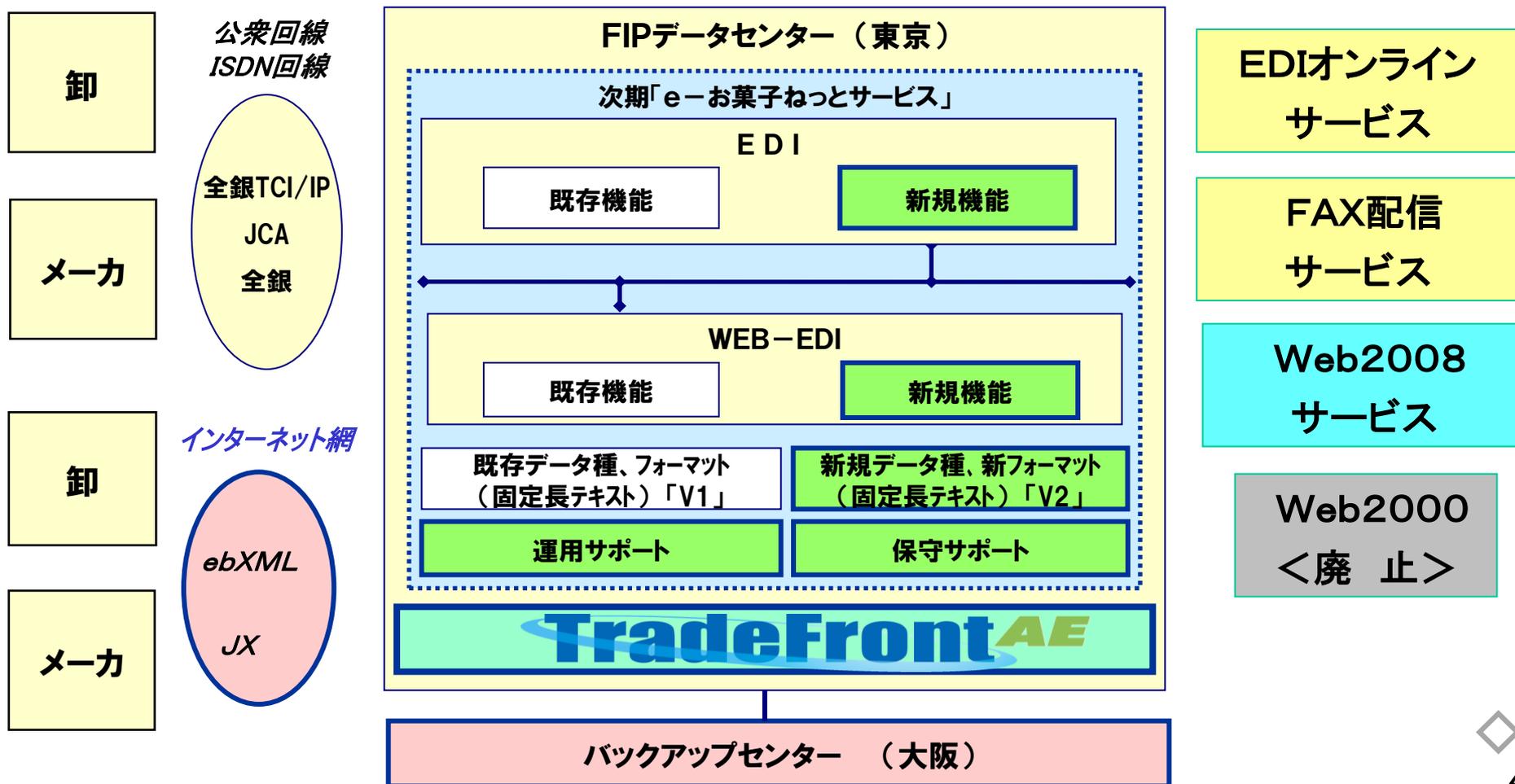
## 1. 現行システムの限界 ⇒ 新規フォーマット「V2」の採用

- ① 現行フォーマット「V1」の予備エリア不足による項目追加の限界
  - ・ 日本語表示への対応 ⇒ FAX発注先への日本語表示
  - ・ 下請法(下請代金支払遅延等防止法)対応 ⇒ 対象表示等、支払期日等
  - ・ 伝票レス化への対応 ⇒ 伝票郵送の削減化、伝票入力作業の軽減化
- ② 卸発注伝票No.の桁不足⇒ 卸様からの強い要望(6桁⇒8桁)への拡張

## 2. システム基盤の拡張

- ① EDIデータ通信の高速化対応 (現在1時間かかるものが2~3分で終了)
  - ・ 全銀TCPIP手順の限界(通信速度56KB, TAモデム利用)
  - ・ 次世代インターネット手順(ebXML/JX手順)の利用  
(通信速度50MB~200MB, ルータ利用)
- ② メインフレーム(汎用コンピュータ)からの脱却
  - ・ 運用コスト高、システム技術者不足 ⇒ 最新技術、利用料金低減化を目指す
  - ・ 自然災害等の復旧修復対応 ⇒ ディザスタリカバリ環境への移行

- ① サービス基盤は、"Trade Front/AE"を利用 (eお菓子ねっと専用ではない) 「補足-01」
- ② 次世代インターネット手順が利用可能 ←通信速度が高速化(56KB⇒200MB)
- ③ 自然災害時にディザスタリカバリ機能が利用可能 (6時間以上停止した場合) 「補足-02」



## 1. 新データ・フォーマットの提供（現行:「V1」 新規:「V2」） 「補足-03」

### ① レコード構成の変更 「補足-04」

現行のヘッダー明細分離型(256桁)を **ヘッダー明細一体型(1200桁)**に変更し、システム開発上、簡単な構成に変更した

### ② 新データ項目の追加 「補足-05」

⇒ **下請法への対応・伝票レス取引の促進化**・取引の利便性を図る為に新規項目を追加する

### ③ データ内容チェックの強化 「補足-06」

⇒ データ・チェック強化によるデータの保全性を強化し、日常運用での運用停止等を防ぎます

### ④ 卸伝票No.の桁拡張 「補足-07」

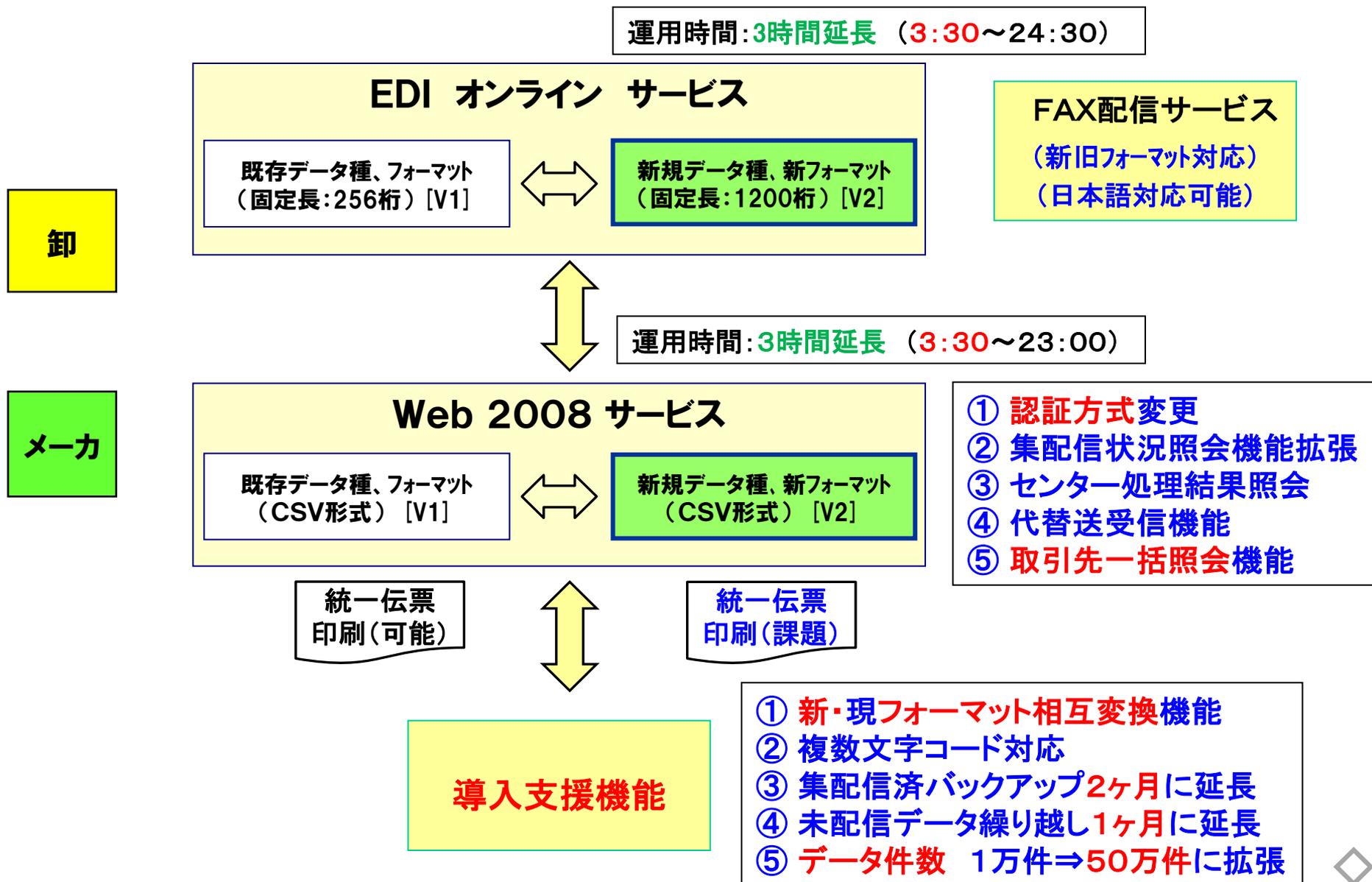
⇒ 卸売業側ニーズが高い為、**6桁を8桁**に拡張する（相対運用）  
（現行フォーマット「V1」にも、2桁追加「予備欄」⇒新・現連携）

### ⑤ 取引先コードの融通性強化 「補足-08」

⇒ 日次運用の利便性を高める為、新規の**三次店・チェーン店**コードにはプライベートコード／GLNも一部利用可能とする

## 2. 現行／新規データ種類

現行データ [V1]		相互変換	新規データ [V2]		備 考	導入支援
発 注	02	⇔	発 注	03		<input type="checkbox"/>
返品通知	19	⇔	返品通知	18		
入庫予定	11	⇔	入庫予定	13		
受 領	12	⇔	受 領	14		
直 送	22	⇔	出荷報告	23	※ 名称変更	<input type="checkbox"/>
店出し	42	⇔	販売報告	43	※ 名称変更	<input type="checkbox"/>
請 求	33	—			※ 伝票単位	
支 払	34	—			※ 伝票単位	
		—	請求(明細)	35	※ 明細単位	
		—	支払(明細)	36	※ 明細単位	
販促金案内支払	51					
販促金請求	52					



- ① 現行フォーマット[V1]と新規フォーマット[V2]間のデータ連携 「補足-09」
- ・「現行FMT⇔現行FMT」 ⇒ データチェックとFMT変換は行わない
  - ・「現行FMT⇔新規FMT」 ⇒ FMT変換と新規FMTのデータチェックを行う
  - ・「エラー発生した場合」 ⇒ 送信元で集配信状況照会でエラー内容を確認する  
⇒ センターメールにて、エラー発生を知る
- ② データ・チェック強化による留意点 「補足-06」
- ・「不整合データ発生」 ⇒ 日々の業務に影響を与えます
  - ・「新規フォーマット」 ⇒ 必須・初期設定項目等のデータチェックを強化
  - ・「重大なエラー発生」 ⇒ 「データ破棄」(コントロール→トレーラ単位)  
⇒ 相手に届かない ⇒ 「エラー対応」(手間と時間)
- ③ 現行フォーマット・データ継続企業への影響
- ・「現行フォーマット継続企業」⇒「事前の対策が必要な場合がある」  
(現在、EDIの企業の過去1ヶ月のEDIデータを調査)  
⇒「データの不整合が発生している場合」  
⇒「エラー内容と対応策」⇒「郵送にて案内」⇒2015年12月迄に対応

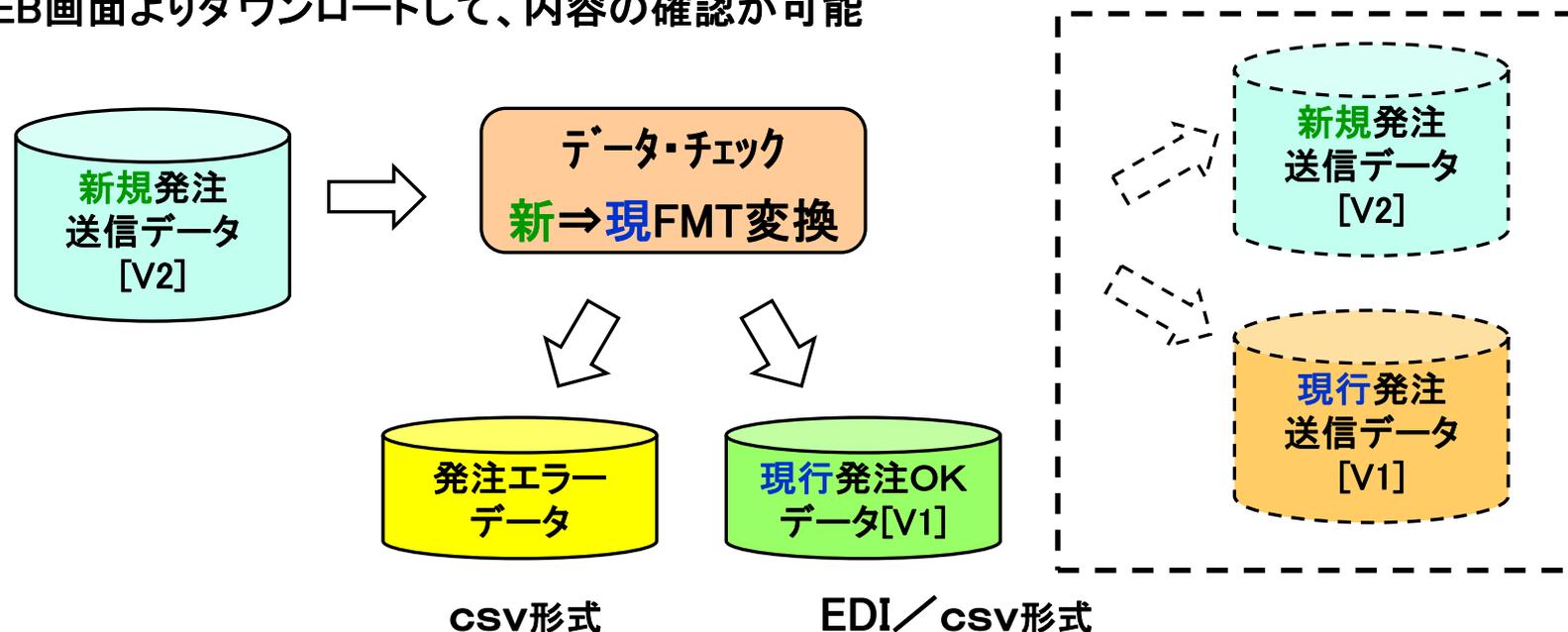
## ① 導入支援機能の必要性

次期システムでは、**新規**フォーマット「V2」に対して、データ・チェック機能を強化しています。事前に、新規データとしてのチェックが必要となります。

## ② 導入支援機能の概要①（送信側）「発注・出荷報告・販売報告データ送信」

**新規**フォーマット「V2」に対応⇒**本番前に送信データの事前の確認**が出来る

- ・ 自社システムで作成した新規FMTデータを、事前に、センターでチェックを行い、各種エラーの内容をWEB画面よりダウンロード(CSV形式)が可能
- ・ エラーが無いデータはセンターで、現行FMTデータに変換し、その現行FMTデータをWEB画面よりダウンロードして、内容の確認が可能

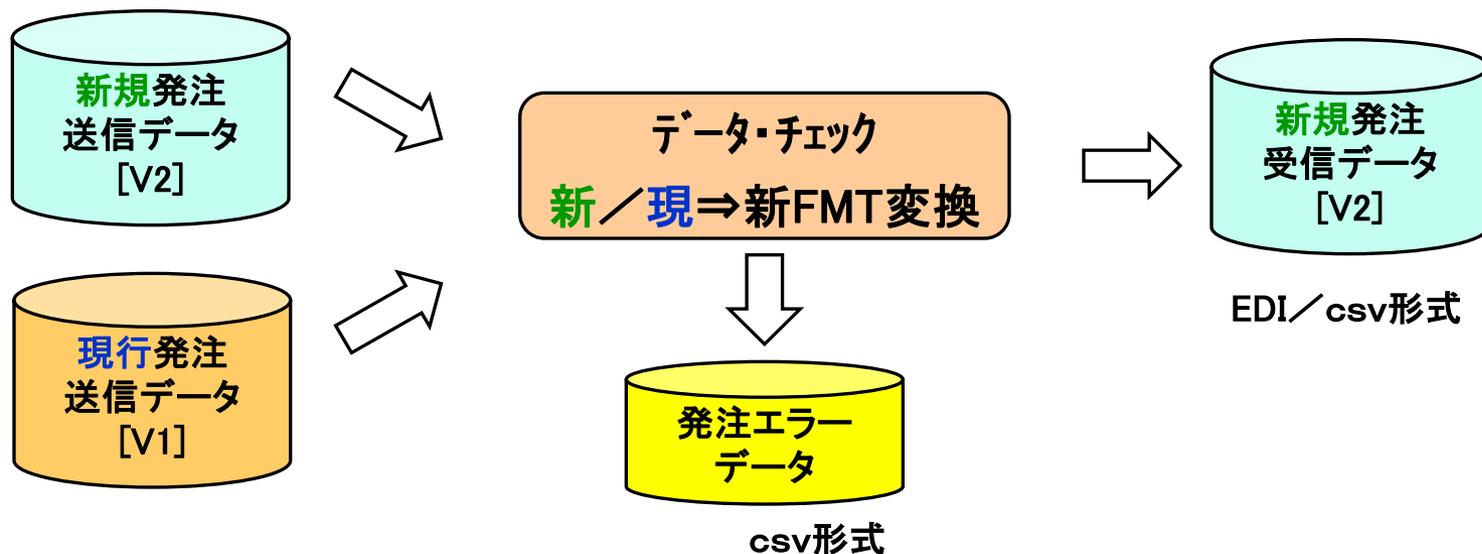


## ③ 導入支援機能の概要②(受信側) 「発注・出荷報告・販売報告データ受信」

事前に、本番データから新規フォーマット「V2」での受信データの確認が出来る

- ・ 事前に、本番データを利用して、新規FMTでの自社システムへの取込テストが可能。
- ・ 受信時にエラーがあった場合はWEB画面よりエラー内容のダウンロード(CSV形式)が可能。  
エラーがあった場合は、相手企業へ内容変更依頼等の調整を事前に行えます。

(移行以前に、受信データ・シュミレーションが可能)



## ④ 導入支援機能を利用するには

- ・ 事前に、**利用申請書**を提出。利用料は**無料**(新フォーマット利用促進の為)
- ・ Web環境と、「全銀TCPIP手順または次世代(ebXML、JX)手順」環境が必要

## &lt; 今後のスケジュール &gt;



## ⑤ 全銀TCPIPリモートLAN変更作業

「補足-10」

- ・ 現在、全銀TCPIPを利用されている企業は、15年10月18日(日)夜に、現行システムから、次期システムへ一括接続変更をする為に、15年4月～15年7月の4ヶ月の間に、現行の回線から、新しい回線に接続変更を行う必要があります。(別途、案内)

① **次期システムの理解と企業内での衆知活動**

「補足-11」

- ・ 次期システムへの理解度アップと卸・メーカー内の関連部署への説明を行います。
- ・ 次期システムへの対応を検討し、スケジュールを考える。

② **次期システム説明資料のeお菓子ねっとホームページへの記載**

「補足-12」

eお菓子ねっとホームページ <<http://www.eokashi.net/>>

※ 2015年1月に、次期システム関連資料を掲載予定です。

③ **お問い合わせ先窓口**

eお菓子ねっと事務局（全日本菓子協会内）

Tel 03-3431-3115

Fax 03-3432-1660

e-mail : [anka-3@nifty.com](mailto:anka-3@nifty.com)

※ お問い合わせ内容を確認後、担当よりメール等にてご返答させていただきます。

### ① 新料金体系案(メーカー側)

(1) 現行フォーマット利用・現行回線利用

⇒ 現行利用料金そのままとする

(2) 現行フォーマット利用・次世代回線(ebXML/JX)利用

⇒ データ種毎に低価格化を予定

(3) 新規フォーマット利用・全回線利用

⇒ データ種毎にさらに低価格化、基本料も低価格化を予定

### ② データ・ガイドラインのご紹介

「補足-13」

- ・ 発注／出荷報告／販売報告データを基本として、項目内容説明および使用例を明記して、既存・新規データ項目の理解度アップを図る。

### ③ 伝票ガイドラインのご紹介

「補足-14」

- ・ 現在の菓子統一伝票マニュアルを改訂して、既存・新規データ項目も含めて、菓子統一伝票への標記方法例を明記して、標準化を図る。

< ご清聴、ありがとう、ございました >